精華町教育委員会会議録

平成26年（第10回）

1 開 会 平成26年10月29日(水) 午前 9時30分
閉 会 平成26年10月29日(水) 午前11時15分

2 出席委員 伊藤委員長 中谷委員 蓑毛委員 細川委員
太田教育長 (欠席委員なし)

3 出席事務局職員

木原教育部長 竹島学校教育課長
村川生涯学習課長 北澤総括指導主事
山崎学校教育課主査

4 傍聴者 なし

5 議事の概要

(1) 開会

委員長から第10回教育委員会の開会を宣言。

(2) 前回会議録について

教育部長から平成26年第9回教育委員会の会議録について説明。

【意見等】

・特になし。

【採 決】

・全員承認。

(3) 教育長報告事項

京都府内市町(組合)教育委員研修会、また近畿市町村教育委員研修会でも教育委員会改革の話が出たが、今後の教育委員会の活性化に向けた取り組みとして第9回教育委員会の意見交換で議論のあった教育委員会会議の開催方法について事務局案を作成したので、このあと提案を行う。

情勢として、来年度には教育委員会制度の大きな改革が控えており、

現在開催している月1回の定例会では十分議論できない。また、様々な教育課題を議論する時間も必要であるため、案件の多い月は月2回開催するなどの対応を考えている。

(4) 協議事項

○教育委員会の開催方法について

以下の内容について事務局から提案を行い、提案通り決定した。また、平成26年11月21日には、町長懇談会の内容等について教育委員会協議会を開催することとした。

目的：教育委員が地域住民の意向を反映しながら教育委員会議において常に活発に議論し、適切な意思決定を行うことで合議制の執行機関として本来の機能を発揮し、様々な教育課題に対し迅速に対応するため、現行の教育委員会運営の改善を行う。

実施方法：議会前等の案件が多いときの委員会2回開催

2月、5月、7月、10月、11月に議案中心の委員会と、報告協議中心の委員会を2回開催。報告中心の委員会開催時には、課題・研究などの協議が必要なものについて、必要に応じ教育委員会協議会を行う。

開催時期：月1回開催の場合→第4水曜日

月2回開催の場合→第2・4水曜日

【委員の意見】

教育委員会制度改革や道德教育の諸問題についての意見など議論を深めたいと思っている。また、事務局側との共通認識も持っておきたい部分もあるので、2回開催には賛成である。協議会でいろんな意見交流を行い、様々な課題に対する改善や対応を議論する中で必要に応じ教育委員会の議題としていくことも本委員会の活性化につながるのではないかと。（伊藤委員長）

町議会前には多くの案件が提出され、資料の事前配布はあるが、事務局からの補足説明が必要なものや議論を交わす時間も限られているので、月2回の開催であれば充実した会議になると思う。生徒指導の問題など、さまざまな課題もあるので、開催回数を増やすことで少しでも前進するので

はないか。（中谷委員）

これまでの教育委員会会議の報告事項でもたくさんの量があったため、協議や研究という具体的な中身にまで深く入るとするのが難しくなっていると感じていた。実施回数の増加や、協議会と言う事前協議の場で議論を深めることは良いことだと思う。（蓑毛委員）

その時々々の情報や検討が必要な課題など迅速に対応できる面や、協議会などでの研究・研修により、委員としての資質向上も図ることが出来るのでぜひ実施して頂きたい。（細川委員）

【事務局】

月2回開催の具体的な開催内容の例としては、町議会前の案件協議や教育委員の自主研修会、翌年度の教育方針に関する内容など。また、内容によっては協議会の開催で対応していきたい。さしあたり、11月に開催される町長との懇談会の内容について協議会を開催したいと考えている。

（太田教育長）

議案内容によって複雑な議案もあり、事前の協議会なり研修会などで詳細な説明により理解を得る必要があると考えており、報告事項については、少しでも多くの情報を共有したいという思いからボリュームも増加している。事務局としては、協議や報告の時間を取って頂きたい。また、協議会での検討内容によっては担当指導主事などの出席を承認頂きたい。（教育部長）

（5）諸報告

ア 教育部長

1 平成27年度予算編成方針について

予算編成の基本的な事項として、精華町第5次総合計画に掲げている基本構想の実現に向け、国、府の動向、また本町における財政状況や行政課題を十分検証した上で予算要求を行うということになっている。

次に財政状況では、平成25年度決算で景気動向も反映して町税収入は平成24年度の決算額を上回るなど、やや回復基調にはあるものの、平成14年・15年当時の水準まで回復しておらず国の経済指標等の回復を実感するに至っていない。

この中で、平成26年度予算編成においては財政調整基金、減債基金から繰り入れても収支不足となり、特別会計である水道基金から借り入れを行い、辛うじて収支を合わせた予算編成であった。

10月1日現在での財政調整基金の残高が極めて危険な水準となっており、平成27年度当初予算、また平成26年度補正予算の計上にも支障を来すおそれが生じてきている。

要因の理由の一つとして、年々増加する扶助費をはじめとした経常的経費の増大が本町の財政に影響をもたらしてきており、厳しい状況から危機的な状況に移りつつある。

第5次総合計画第2期実施計画に示された事業計画を見ると、平成26年度から31年度までの6年間の町財政需要は全体で200億円を超える状況で、この事業計画については、財政見通しや財政計画と整合を図りつつ、優先順位を明確にして着手時期、年度を定めていかなければならない。

そういう中で平成27年度の当初予算規模を見込んでおり、①持続可能な財政運営の確保と危機意識の共有②選択と集中、優先順位の明確化③歳入歳出両面における新たな手法の検討を予算編成の基本方針にあたることとなる。

平成26、27年度については精華中学校、消防庁舎の建て替え、木津川市に立地予定のクリーンセンターへの建設負担金に多額の財源を必要とする。この大型事業は基金、地方債を最大限に活用し臨時的な経費で、緊急避難的に行った水道基金からの借り入れは、これらの大型事業に起因するものではなく、毎年経常的な歳出予算に対する財源不足がその本質であることに注意が必要であり、引き続き事業の選択と集中を繰り返し、さらなる歳出予算の重点化、持続可能性の確保が喫緊の課題であり、裁量的経費、義務的経費を通じて聖域なき見直しを強力に推進する必要がある。また、全ての事業をゼロベースで見直し、一部事業の廃止や縮減も辞さない覚悟で臨む必要がある、将来に渡って持続可能な財政運営を確保するため、施策・事業目的に照らした有効性、妥当性、代替性、類似性、補完性など十分検討のうえでの予算編成となる。

1. 精北小学校コンピュータ備品の機器更新及び山田荘小学校給食室大型備品の購入について

各小・中学校コンピュータ教室に整備しているコンピュータ機器の更新について、今年度については精北小学校の更新を行う。歳出予算規模は1,000万円で、財源の一部は特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用する。10月20日付で入札公告を行い、入札参加者を受け付けた結果、3社から入札参加申請があった。これを受け、11月13日に入札し12月定例会議へ上程する予定。機器構成は、学校との調整結果、可動性のあるタブレットコンピュータ導入を計画した。また、同交付金を活用して山田荘小学校給食室に炊飯器、洗米機、皮むき機の大型備品を購入する予定で、歳出予算規模は400万円程度、コンピュータ備品と併せて入札執行の予定。

2. 「精華町安全・安心まちづくり会議」について（10月10日開催）

平成25年1月30日に精華町、木津警察署との間で「精華町安全・安心まちづくり協定」を締結し、木津警察署や庁内関係課と合同で年2回の交流を行い、情報の共有や防犯、防災、交通安全など、さまざまな施策を推進している。特に学校教育に関係する部分では地域見守り箱の活用や、奈良市と相楽地方の中学校の情報交換交流会の開催による情報共有、交通安全教室等の実施状況等について交流した。最近でも声かけ事案等が発生しており、特に防犯、交通安全について強化していくとの確認を行った。

3. 各種行事の案内

①精華中学校第5回収穫祭

日時：平成26年11月1日 9:00～12:00

場所：精華中学校体育館など

内容：開会セレモニー

授業や体験学習・シニアスクールの収穫物を使った催し

思い出の校舎写真展

木津高等学校による野菜・花などの販売

京都廣学館高等学校による演武などの披露

②第17回小・中学校文化交流会

日時：平成26年11月4日 13:15～15:20

場所：けいはんなプラザ メインホール

内容：町内小学校6年生・中学校吹奏楽部生徒による発表

③国立国会図書館関西館見学デー

日時：平成26年11月16日 10:00～16:00

場所：国立国会図書館関西館

内容：関西館のお仕事紹介

クイズラリー

キッズコーナーほか

④せいか祭り2014

日時：平成26年11月16日 10:00～15:00

場所：けいはんな記念公園・けいはんなプラザ

内容：学研精華商店街

学研ミュージックストリート

各種団体紹介・体験・相談ほか

ウ 総括指導主事

1. 児童・生徒の事象についての報告

個々の具体的な事象については、個人情報に関する内容であり、精華町教育委員会会議規則第16条の規定により非公開とすることができるとため会議に諮られ、「異議なし」としてこの件については非公開となった。

2. 全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査が終わり、現在その結果について分析しているところで、今後町広報誌やホームページに掲載を行う予定。小学校の結果については、おおむね全国と同じような傾向で、全国よりも国語、算数とも約5ポイント程度上回っている状況。領域・観点等の比較も全国の達成度と同じような傾向を示している。

特に気になる点としては、算数の正答数で底辺層にも若干分布が多く、その部分の強化や、きめ細かな指導を今後行う必要があると考えている。

3. いじめ防止のための各種組織の立ち上げについて

精華町いじめ防止基本方針が9月1日付で策定され、今後4つの組織により運営を行う。11月20日には精華町いじめ問題対策連絡会議を行う方向で調整を進めている。構成メンバーは、関係諸団体代表、学識経験者、学校、警察署、精華町及び精華町教育委員会等を予定。精華町いじめ防止実務担当者会議については、調査・分析、教職員研修の企画等、実務的な役割を果たすもので、これも近日中に開催予定である。そのほか、精華町いじめ防止対策推進委員会についても今後組織の立ち上げを行う予定。

4. 山城地方中学校駅伝大会について

精華中学校	男子	7位	女子	30位
精華南中学校	男子	38位	女子	9位
精華西中学校	男子	8位	女子	14位

エ 生涯学習課長

1. 青少年健全育成標語入賞作品の決定について

精華町青少年健全育成協議会の取り組みとして、青少年健全育成啓発のための標語の募集を小学校5年生から中学校3年生までを対象に行い、去る9月24日、選考委員による選考を実施。その結果、小学生の部は東光小学校6年生、阪本渚月さんの「みんなで守ろう一人の心と一人の命」、中学生の部は精華西中学校1年生、平山明見さんの「あいさつし あなたに笑顔を おすそわけ」をそれぞれ最優秀賞に決定したほか、4作品を優秀賞として選考した。最優秀賞作品は、今後、啓発用のぼり旗や啓発用ティッシュとして印刷を行い、それぞれ、啓発活動に活かしていきたいと考えている。

2. 子ども祭りの実施について

10月18日土曜日に第12回精華町子ども祭りを開催。会場はむくのきセンターで、延べ約1,550人の来場があり、うち子どもが約900人、大人が約650人という内訳。開会式に続き、オープニングを担当した精華南中学校の吹奏楽部の演奏は非常に素晴らしく、司会者を務めた子どもも落ちついて進行を行ってくれた。その後、体験コーナー22団体、フリーマーケット11団体の参加により、各ブースにて催し物を盛り上げていただいた。昨年からの

傾向として、体験コーナーでは非常に充実した取り組みができていると出展者からもご意見、感想をいただいている。

3. 「はやぶさ2」打ち上げライブ中継に伴うバプリックビューイングの実施について

「はやぶさ2」打ち上げの様子を役場交流ホールでインターネット中継し、住民の方々に視聴いただくという取組で、午前中には関連する講演会を行ったあと、午後1時24分の打ち上げの瞬間をライブ中継により見ていただくという内容。けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワークと連携をとりながら開催。

オ 後援関係

9月から10月に受け付けた教育委員会後援事業の報告は、総数15件、学校教育課関係は2件、生涯学習課関係が13件、うち社会教育係関係が12件、図書係は0件、体育係関係は1件。

カ 11月の行事予定について

(6) 閉会

委員長が第10回教育委員会の閉会を宣言。